

令和3年度 小谷村教育委員会 2月定例会 会議録

◎開催日時 令和4年2月24日（木）
開会：16時05分 閉会：16時40分

◎開催場所 小谷村教育委員会 相談・応接室

◎出席者 教育長 関 芳明
教育長職務代理人 太田 久吉
教育委員 片山 弥生
教育委員 深澤 和子

◎欠席者 教育委員 太田 明

◎傍聴者 なし

◎職務のため出席した者 教育課長 鷺澤 美幸

1 開 会 （16：05）

○教育長 令和3年度小谷村教育委員会2月定例会の開会を告げる。

2 日程の報告

日程第1 1月定例会会議録の承認

○教育長 1月定例会の会議録は事前にお送りしました、内容について加筆訂正等あります。 《なしの声あり》 それでは、会議録については異議なしということでよろしいでしょうか。

○出席委員 了解する。

日程第2 教育長事務報告

○教育長 出席した会議等、資料のとおりです。小学校の校用技師を募集し、2月3日に面接を行いました。その結果、里見地区の松本寅雄さんをお願いすることに決定しました。応募者は2名でしたが、技術系の仕事ですとか施設管理の経験があるということ伺いまして、松本さんに決定いたしました。教育長報告は以上とさせていただきます。

日程第3 報告及び協議事項

○教育長 本日は、ご審議いただき議案はありません。報告及び協議事項に移ります。児童生徒の様子について、前回の会議の中で全中スキー大会の出場者を報告したところですが、その結果についての報告です。大会は2月1日から4日まで野沢温泉村で開催され、小谷中から6名の選手が出場しました。その中で、深澤ひなたさん

がGS 3位、目時羽琉さんがコンバインド2位という大変優秀な成績を収められました。出場した選手の成績については記載のとおりです。目時羽琉さんは、国体の少年の部にも出場しております。

新型コロナウイルス感染症の関係ですが、小谷中学校では、2月7日までに感染者が生徒15名、教職員2名となりましたが、2月8日からは通常の授業を再開しております。小学校については、1月25日までに1名の感染があり、それ以降の感染はありませんでしたが、本日5年生で陽性者が1名確認されております。現在の取り扱いでは、最後に登校した日から5日間休業するという決まりになっていて、22日が最終登校日ですので、27日日曜日まで5年生を学級閉鎖とすることにしています。保育園については、24日までの段階で園児1名の陽性報告がありましたが、それ以降はありません。まん延防止等重点措置期間中は、家庭で保育ができる場合は登園を自粛していただくようお願いをしています。まん延防止等重点措置が延長になりましたので、登園自粛についても引き続きお願いしていくことになります。

○教育課長 3歳から5歳児については、家庭で保育ができる1号認定の児童については、原則登園自粛をお願いしています。0歳から2歳児については、お母さんが働くために保育園に預けているので、ほとんどの園児が登園しています。

○教育長 中学生の進路については、3年生23名のうち公立前期選抜試験を18名受験して内定した生徒が14名、公立後期試験受験予定が7名、他内定済みの生徒が2名です。後期選抜試験受験者の中には私立高校に内定していて受験する生徒も含まれています。

○片山委員 最終登校日から5日間の数え方ですが、陽性になった生徒が1日に登校していた場合、1日から5日まで休みで6日から再開ということですか。

○教育長 発熱した日の2日前から登校していなければ関係ないんですが、3日に発熱がありました…その2日前までですので、1日に登校していたとすれば、翌日から5日間と数えますので、2日から6日まで休業し7日から再開となります。月曜日に発熱があつて欠席した児童が検査の結果陽性となった場合ですと、2日前の土曜日から登校はしていないので、学校は通常どおりということになります。

○教育課長 濃厚接触者の考え方ですが、最近の保健所の指導では、同じ教室で給食を食べたとしても、複数の感染者が出ていたり先生に感染者がいたりしないと濃厚接触者と判断しないそうです。今回も1人の児童が陽性ということですので、濃厚接触の判断をせず、そのクラスだけ5日間の学級閉鎖となります。

○○○委員 孫が陽性になった時も、家で接していないので、濃厚接触者にはあたらないと言われました。早退して帰って来てから自分の部屋に閉じこもったので顔も見っていません。結局は家族全員が検査をして全員陰性でした。

○教育長 取り扱いがどんどん変わってきていまして、先ほどお話しした5日間というのも一番新しい通知によるものです。今の状況では、濃厚接触者を断定してそこから追っていくということをやっているのは、時間がかかってしまうということで一律に5日間休業という方向が示されました。

- 深澤委員 抗原検査と PCR 検査はどう違うのですか。
- 教育課長 抗原検査というのは、鼻でやる検査と唾液もありますが、その中にウイルスがいることがわかるのが抗原検査です。そのウイルスが持つ特有のたんぱく質を検出する検査で、短時間で結果が出ます。風邪の菌もコロナウイルスですので、陽性反応が出てしまいます。PCR 検査は検体を培養して、ウイルスの遺伝子を検出する検査ですので、時間がかかります。
- 深澤委員 スキー部の子で、抗原検査をすればすぐ結果が出るので、陰性を確認してスキーの大会に行こうと思ったら、陽性が出てもう一回 PCR 検査をすることになったのですが、陽性だったと学校には報告したけれどクラスには報告がなく、休校にもならなくてすごく心配したという話がありました。
- 教育長 心配してあらかじめ検査したところ擬陽性だったというケースで、検査自体は民間の検査機関の PCR 検査でした。PCR 検査でも擬陽性になる可能性はあるようですので、出なかったからと言って安心はできませんし、出たからと言って絶対にそうということでもないようです。今回の場合は、もう一度医療機関で検査をしていただいて陰性だったので、何事もなく良かったのですが、検査をすればそういうこともあるんだということがわかりました。検査の精度を高めてしまうと、検出できる範囲が狭くなってしまいますし、精度を落とすと、違うウイルスまで拾ってしまうということです。
- 深澤委員 その検査は正式なものではないから、学校はすぐに「陽性者が出たから休校にします」ということにならなかったということですか。
- 教育長 検査自体は民間の検査機関でやったものですが、保健所が対応するには、県の機関や指定の医療機関で出た結果によって初めて動けるということがありまして、最初の検査結果が陽性になった時点では、県としてはそういった対応はできませんでした。次の段階として医療機関等で調べて陽性であれば、動くということになり、医療機関の検査で陰性だったので対応しなかったということです。
- 教育長 次に当面の予定ですが、資料記載のとおりです。
- 3月17日、卒業式ですが、今年度は小・中で対応が違います。3月17日の卒業式と4月6日の入学式については、小学校の場合ですが、教育委員さんは感染警戒レベルに関係なくご出席いただきたいと思いますので、ご予約をお願いします。中学校は、感染警戒レベルが4以上の場合は特別対応ということで、教育委員会は私が代表してということでご了解いただきたいと思います。3月25日の卒園式と4月4日の入園式については村長と議長のみ出席ということで、教育委員さんをご出席いただかないということでご承知ください。
- たった今報告があり、小学校の教職員1名が陽性になったということで、担任している学年については、5年生と同じ対応で5日間の学級閉鎖ということにします。今後、増えてこなければいいのですが。
- 深澤委員 今、ポツポツと感染者が出ているというのは、家庭内感染ということでしょうか。
- 教育長 細かい情報は、私たちにも入りませんので、小谷村で何人という発表があ

っても、学校・保育園に関係していないとわかりません。

○太田久吉委員 治った、治らないの見極めは、何かあるのですか。以前は、2週間家にいないといけなかったのが10日間になり、1週間になってどんどん短くなっていきますね。

○教育長 決められた期間が過ぎれば良いということになっています。

○太田久吉委員 人によって、すぐ治る人と治りにくい人がいると思いますが、関係ないのでしょうか。

○深澤委員 もう一度PCR検査をするのではないですか。

○教育長 PCR検査をすると陽性と出てしまうので、今は検査をしないそうです。人にうつすかもしれない期間が過ぎていけば良いということではないのでしょうか。

次に、1枚別にお配りしました、給食の異物混入について、学校給食共同調理場の場長ということで課長から説明させます。

○教育課長 ここ数日間で給食への異物混入が続いています。2月16日(水)、小学校6年生の鶏の塩麴焼きに髪の毛が絡まっていたということで、調理段階で混入したことに間違いないであろうと思われまます。18日(金)、小学校4年生のお盆の上に髪の毛が乗っていました。どちらも、配膳の際に気が付いたので、児童の口には入っていません。21日(月)、食器保管庫内のお盆カゴの中に髪の毛が付着していたということで、調理員が発見したため、時前に対処することができました。同じく21日、中学校3年生のごはんに髪の毛の混入があり、配膳の際発見したため生徒が口にすることはなく、ご飯を盛りなおして食べました。この日は小学校2年生の雪中キャベツ入りハンバーグにも髪の毛が混入しており、児童が食べてしまいました。ハンバーグを食べた児童が異変を感じ、口の中から髪の毛が出てきたということです。翌22日(火)には、中学校3年生の米粉マカロニグラタンに髪の毛が乗っていたということで、食べる前に気づき取り替えました。児童・生徒の手元に配膳してしまい食べてしまった場合には、その日のうちに教頭先生からご家庭には連絡をさせていただきお詫びをしまして、保護者の皆さんからはご理解をいただいております、丁寧な対応をさせていただいたということで、幸いにもお叱りなどはありません。21日(月)の朝の作業打合せに同席し、「異物混入は、防げることなので、調理員の皆さんで協力して何とか防いでください」という話をしてきたその日に3件の混入があったということで、栄養士も調理員もだいぶまっています、気持ちを引き締めて、対応を考えています。このような事案がありましたということで、小・中の全家庭に対して、お詫びとお知らせを配らせていただきました。対策としましては、帽子を頭から首まで覆う長いものを調理以外の時間にも使用するように変更しました。作業着に着替える前に粘着コロコロで全身のホコリをとり、作業着に着替えてもう一度コロコロをし、調理員同士で目視により確認するということを徹底して行います。お詫びのお知らせを出すことで、ご家庭から何らかの反応があるかもしれませんが、場長として誠実に対応していきたいと思っております。

○片山委員 調理室に入る前に、風を浴びて入るのですか。

○教育課長 自動ドアのところにエアシャワーが付いていて、入る時に風を浴びるの

ですが、現在の衛生基準では、エアシャワーを浴びるところが小部屋になっていればよいのですが、自動ドアについているというのは好ましくありません。体についたホコリなどを室内の方に飛ばしてしまう可能性があるためです。10月に文科省の調査研究事業として県教委の指導主事の先生による衛生管理指導があり、エアシャワーについての指導を受けて、風を弱くしました。調理員からは、そのことが影響しているのではないかという意見もありますが、風を弱くしてからの数か月間、混入がなかったことと、ほとんどの調理場にエアシャワーが設置されていない中で、髪の毛の混入が起きていないことから、エアシャワーが原因ではないと思います。

○太田明委員 給食を試食させてもらった時、各自でお盆を持ってそこに給食を乗せてもらった記憶があるので、調理場で入ったと断定できないと思います。

○教育課長 お盆と食品の上に乗っていたケースは、調理場だと断定できませんが、鶏肉とハンバーグは、混ぜ込んだ状態でしたので調理の過程で混入したのだと思います。子どもたちが大騒ぎをしないでいてくれるので、とても助かっています。口の中から髪の毛が出てきた子も担任の先生が、「ごめんね、嫌だったね」と声を掛けると「大丈夫」と言ってくれますし、その後、食べられなくなる子もいません。今後、今まで以上に十分気を付けて調理にあたっていきますので、よろしく願いいたします。

日程第4 自由討議

○教育長 自由討議です。何かありますでしょうか。よろしいですか。

日程第5 次回委員会の開催予定

○教育長 次回の教育委員会 3月25日金曜日4時30分から予定したいと思いますがいかがでしょうか。

○全委員 了承する。

3 閉 会

○教育長 以上で本日の会議事項は全て終了しました。これで令和3年度小谷村教育委員会2月定例会を閉会とします。ありがとうございました。

(16 : 40)